

カテゴリー：環境
プロジェクト名：水素エネルギー利活用の推進

2017 年 9 月 19 日
都市整備局

選手村地区エネルギー事業の事業予定者の決定

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）後の選手村（中央区晴海）では、水素ステーションを整備し、住宅等の街区や燃料電池バスに水素を供給することで、災害時の自立性の確保や、快適性とエコな暮らしの両立を図るなど、環境先進都市のモデルとなるまちの実現を目指しています。また、大会時には都が主体となって、世界中から集う多くの人々に水素の有用性と日本の最新技術をアピールしていきます。

本年 6 月から、本事業を実施する民間事業者の募集を開始し、8 月に提案書を受け付けました。この度、審査委員会から審査結果の報告を受け、下記のとおり事業予定者を決定しました。

◆事業予定者

1 グループ

＜構成員＞ 東京ガス株式会社 他 3 社

◆提案書の概要

- ・ エネルギーの多重化により低炭素化、省エネ、都市のレジリエンスの強化を実現
- ・ 防災、水素啓発、コミュニケーションの 3 つの機能を持つ拠点の整備
- ・ 環境先進都市モデルの進化に向けた協議会と東京 2020 大会時の PR の具体化に向けた検討会議の設置



（参考）事業予定者から提出されたイメージ



* 地図は Google Map より取得

詳細は都市整備局 HP をご覧ください。

<http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp/topics/h29/topi029.html>

（お問い合わせ）

都市整備局市街地整備部 電話 03-5320-5112